



川崎地域連合

UNION-COMMUNITY かわさき

発行 日本労働組合総連合会神奈川県連合会川崎地域連合
川崎市川崎区渡田新町 3-2-8 TEL044(589)8735 FAX044(589)8736

No.124
2025.1.14

—機関誌—
発行責任者 渡部 堅三
編集責任者 舘 克則



新年のごあいさつ

連合神奈川会長



林 克己

引き
続き「あ
らゆる組
織やしく
みの持続
可能性が

あけましておめでどうござい
ます。皆様方におかれましては、
ご家族お揃いで健やかに新春を
お迎えのこととお慶び申し上げ
ます。▼昨年、あらゆる場面で「深
刻な労働力不足と65歳以上の人
口が4割となる超高齢社会は確
実にやってくる。このことに備え
なければならぬ」という話をし
てきました。そしてこの1年、よ
り一層少子高齢化は進展してお
り深刻度は増しています。▼引き



川崎地域連合議長



渡部 堅三

「復活と
再生」を意
味するた
め「新しい
時代が始

皆さんご安全に！新年あけま
しておめでどうございませう。皆様
方におかれましては、ご家族お揃
いで健やかに新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。また、
年末年始も会社業務に精励され
ている仲間の皆さんに深く敬意
を表します。▼組合員ならびにご
家族の皆様には常日頃、川崎地域
連合の運動に対するご協力・ご支
援に紙面を借りて御礼を申し上げ
ます。▼今年の干支は「乙巳(き
のと・み)巳年」です。蛇は脱皮
を繰り返し成長することから、

問われてくる」ことを念頭に、本年
の取り組みを進めて参ります。▼先
の衆議院選挙で、政治勢力は一変
し、これからの政治のあり方に注目
が集まっています。このような時こ
そ、現在の延長で未来を考えるので
はなく、未来から現在を俯瞰した取
り組みを進めるチャンスであるとし
感じます。▼また、連合神奈川が持
続可能であるための取り組みとし
て、財政課題を踏まえつつ、地域連
合組織のあり方、運営のしくみにつ
いての議論をスタートします。▼役
職員一同、全力で取り組んで参りま
すので、引き続き皆様方のご理解と
ご支援を賜りますようお願い申し
上げます。ともに頑張りましょう。

まる起点の年」とも言われていま
す。世界での悲惨な戦争の停戦で、
景気上昇に繋がることを願うと共
に、実り多き一年になりますこと
をご祈念申し上げます。▼昨秋の
衆議院選挙では、連合が掲げた「与
党を過半数割れに追い込み、今の
政治をリセットする」という方針
の実現に向けた足掛かりに繋が
りました。今年は参議院選挙・川崎
市長選挙が施行されます。川崎地
域連合の推薦候補者全員の当選に
向けて、組織の総力を結集しまし
よう！▼私達を取り巻く環境は
今年も課題山積ではありますが、
「働くことを軸とする安心社会」
の実現に向けて、引き続きの力添
えをお願いし、新年の挨拶に代え
させて頂きます。

川崎市市長



福田 紀彦

てまいり
ます。▼
地域包括
ケアシス
テムの構

新年、あけましておめでどう
ございませう。▼組合員やご家族
の皆様にとりまして、今年一年
が明るい話題にあふれ、実りの
多い良い年になりますようお祈
りいたします。▼昨年は市制一
〇〇周年という節目を迎え、多
くの方と喜びを分かち合うこと
ができた一方、能登半島地震の
発生など、災害を自分事として
考える大切さを改めて実感した
年でした。災害への対策を含め、
次の一〇〇年に向け取組を進め



川崎労福協会長



村松 秀幸

旧・復興
を祈念い
たしま
す。▼一
昨年

新年あけましておめでどうご
ざいませう。▼皆様におかれまし
ては、すこやかに新年をお迎え
のこととお慶び申し上げます。
▼昨年元旦に発生した能登半島
地震から一年が経過しました。
改めて被災された皆様とご家族
にお見舞い申し上げます。しか
しながら、インフラをはじめ被災
地の復旧・復興は未だ道半ば
の状況といえます。復興に向け
ては、今後も息の長い支援が必
要です。被災地の一日も早い復

築を推進するとともに、周産期支援
の充実など、「安心のふるさとづく
り」に取り組みでまいります。▼ま
た、「力強い産業都市づくり」とし
て、カーボンニュートラルなエネ
ジーの供給拠点形成に向けた取組
を加速するとともに、特定の建築物
や事業者に太陽光発電設備導入を
義務付ける制度を開始するなど、脱
炭素社会の実現に向けオール川崎
で挑んでまいります。▼複雑化・多
様化する地域課題の迅速な解決や
持続的な発展のため、「特別市」の
法制化に向け取り組んでまいりま
す。▼引き続き「成長」と「成熟」
の調和する「最幸のまち かわさき」
を目指してまいりますので、皆様
の御協力をお願いいたします。

会員組織と市民の連帯で取り組ん
できた「市民と働く者のフェスタ」
は従前の装いを新たに開催してお
りますが、昨年は川崎市が市政10
0周年を迎えるにあたり、実行委員
会に参画し、様々なイベントへの協
力を行ってまいりました。引き続き、勤
労者と市民の福祉向上に努めてま
まいります。▼本年は川崎労福協誕生
40年の節目の年です。これまでの
運動をしっかりと継承しつつ、今の
社会課題の解決、そして働く仲間、
市民の福祉向上に向けて「福祉はひ
とつ」のスローガンの下、地域連合
の皆様と共に取り組みを進めてま
います。▼ご家族皆様のご健勝、ご
多幸をお祈り申し上げて新年のご
挨拶とさせていただきます。

組合員と市議会議員が連携して川崎市内の改善に取り組む

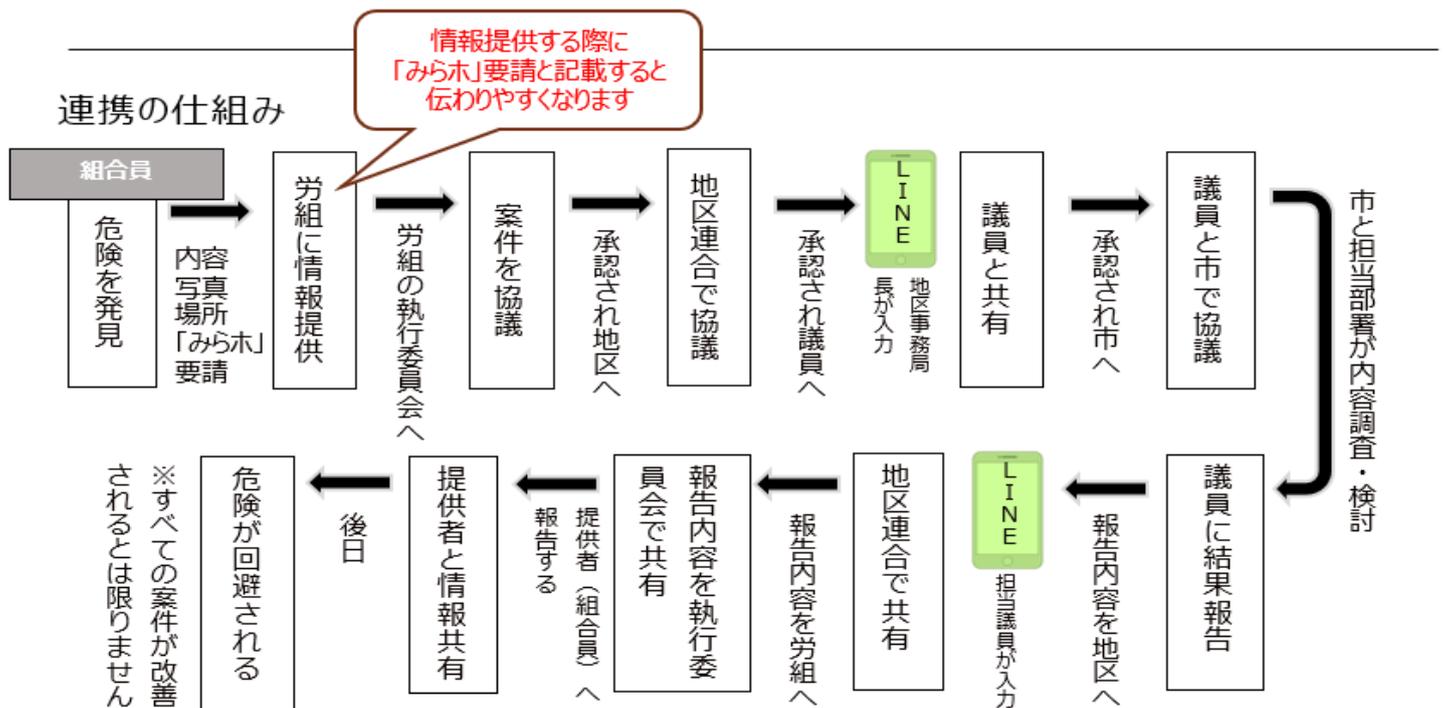
『みらいホツとLINE』を新設しました！



新設の経緯

川崎市内に通勤し、暮らす私たちは、街に発生する危険な場所（箇所）に気付くことがあると思います。その危険な場所の改善方法について新規提案します。これまでは年1回『政策・制度要求と提言』において、市や区に対して要請をおこない解決に向けた取り組みをしていましたが、なるべく早く解決したい身近な事案については、連合神奈川議員団である川崎市議会議員（会派：みらい川崎市議会議員団）と地区事務局長がLINE（みらいホツとLINE）で連携を取り合い、解決に向けたプロセスを踏む取り組みを新設しました。

連携の仕組み



詳細は、川崎地域連合のホームページ [川崎地域連合](#) 検索 [『企画』コーナー](#) または、QRコードよりご覧ください



覚書手交



渡部議長 みらい川崎市議団
堀添団長



運用にあたっての依頼事項

1. 組合員は、危険と思われる住所とその写真、要望内容などの情報を所属労組へ提供してください。
『みらホ』要請と記載すると伝わりやすくなります。
2. 労組は情報提供を受け入れる体制を整えてください。
3. 労組は地区事務局長と連携を取れるようにしてください。
4. LINE 共有者は地区連合事務局長と連合系市議会議員、川崎地域連合事務局のみとします。
5. 情報提供を受けたものすべてが、改善されるとは限りません。
6. 緊急を要しない案件は、これまで通り政策・制度要求と提言へ情報提供願います。